

せんかん ニュース

千葉・関東地域社会福祉史研究会 会報誌

No.2 2007 年 10 月 11 日

千葉・関東地域社会福祉史研究会事務局

〒174 - 8645 東京都板橋区前野町 5 - 5 - 2

大乗淑徳学園附置 長谷川仏教文化研究所内

URL <http://www7a.biglobe.ne.jp/~chibakanto/>

E-mail ck_fukushi@yahoo.co.jp

I. 研究総会が開催されました

第2回（2007年度）千葉・関東地域社会福祉史研究会研究総会が7月14日（土）15時から淑徳大学（池袋サテライト・キャンパス）にて開催されました。台風が関東地方に迫っている最中で出席を見送らざるを得ない会員もいましたが、予定通り開催させて頂きました。

総会

2006年度の活動報告、2007年度事業計画案および予算案が審議のうえ、承認されました。



総会の様子

2006 年度 千葉・関東地域社会福祉史研究会 決算

収入の部

(単位 円)

科 目	決 算 額	摘 要
1. 年会費	121,700	会員 33 名
2. 寄付金	200,000	三好、長谷川、古宇田
3. 雑収入	1,150	『千葉県社会事業史研究』第 16 号@1,150×1 冊
4. 利 息	47	
合 計	322,897	

支出の部

(単位 円)

科 目	決 算 額	摘 要
1 通信費	44,790	第 1 回研究総会案内状送付、会報誌送付
2 消耗品費	13,360	
3 次年度への繰越	264,747	
合 計	322,897	

2007 年度事業計画について

1. 関東各県の福祉施設資料の所蔵状況について

2006～2007 年上半期にかけて、関東各県の社会福祉協議会福祉情報センターと各県（立）図書館、歴史史料館・博物館などで、福祉施設発行の周年記念誌類の保存・所蔵を確認しつつ、基礎史・資料の有無を調査しました。概要は以下の通りです。※各県の『社会福祉施設名簿』は、各県社会福祉協議会のホームページに掲載、2003 年度ごろまで県保健福祉部で冊子として発行（記載の認可年月日は府県で認可した日付であって、それ以前の個人経営の時代も考慮する必要あり）していました。

（1）山梨県

『山梨県社会事業誌』1951 年、『山梨の社会福祉四十年史』1992 年の各福祉施設紹介なかで、簡単な概要・歩みを記す程度。

（2）茨城県

『風雪三十年－児童福祉施設 30 年の歩み』1979 年で県内児童福祉施設を紹介し、各園の概要と歩みを詳細に記す。記念誌は友部学園など 2 園、茨城孤児院について大森昭佳氏（『県史研究』85 号 2000 年）論文、同孤児院の設立・維持の史料を茨城県歴史館で撮影した。

6 月 30 日に菅田理一会員が筑峰学園へ資料確認の調査、段ボール 10 箱を確認、

後日を約す（筑波学園開設時の資料については今後追跡の予定）。

（３）埼玉県

埼玉県の救済団体『埼玉県共済会二十年史』1941 年、同『七十年史』1989 があるが、基礎資料は閲覧不可。福祉情報センターに数園の記念誌あり。『同仁－同仁学園五〇年誌』は送付済み、川越の埼玉育児院（児童養護）では 100 年史の編集・刊行を予定。

（４）群馬県

『群馬県社会福祉施設ガイドブック・児童福祉施設版』2003 年をもとに、県下の児童養護、自立支援の施設名簿を山本世紀運営委員に送付し、児童福祉施設に詳しい人の紹介を依頼。

なお、千葉県社協以外には県社協内に県民向けとして福祉情報センターが設置されているが、若干の記念誌類を保存する程度（任意寄贈）。計画的・積極的に集積する意思なし（担当も兼務か受付のみ）。また、福祉施設・団体自体が現状の経営・運営に多忙であるため、記念誌発行や所蔵資料にまで関心を持ち得ないのが実情である。

２．研究テーマと調査・研究活動について

（１）テーマ（案）については、

- a. 近代日本における関東地域児童保護・救済史の実証研究
- b. 関東地域における児童保護・救済史の実証研究

などを考えており、対象を児童全般とし、保護・救済史の資料調査と研究活動を今年度より実施していく。

（２）調査・研究について

今年度（2007 年度）から 2～3 回各県での資料調査（事前に福祉施設へ資料の確認照会・予備調査をおこなった上で）と、3 回程度の研究会を開催する。

○資料調査の手順・方法は次のとおりとする。

戦前期および昭和 20 年代に開設の児童福祉施設（養護、障害、自立支援などすべてにわたる）を福祉施設名簿より選択し、

- a. 記念史・誌類（『創立何十年史』など）の発行の有無と入手方法の照会。
- b. 創立当時からの業務日誌や指導日誌など施設運営・指導などを知る諸記録類所蔵の有無について。
- c. 法人または施設で発行の要覧、新聞、報告書などの所蔵の有無について。
- d. 長期勤務者の有無や児童福祉分野に詳しい関係者の照会。

（３）関連事項

期間を 2008～2010 年度（H20～22 年度）の 3 年間で、長谷川仏教文化研究所と

連携して、私立学校振興・共済事業団の研究補助金などを勘案しながら調査・研究を実施したい。

2007 年度 千葉・関東地域社会福祉史研究会 予算

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
1 年会費	195, 000	会員 50 名 (目標数)
2 前年度より繰越	264, 747	
合 計	459, 747	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
1 事務経費	30, 000	
2 印刷製本費	150, 000	研究誌第 32 号発行(部数 300)
3 通信費	30, 000	
4 消耗品費	30, 000	
5 地域連絡協議会分担金	20, 000	
6 予備費	199, 747	
合 計	459, 747	

総会の後、佐々木光郎会員から「静岡・神奈川における感化教育・教護実践史 概要―少年教護法施行（1934）前後の実態について―」研究発表が行われました。静岡の県立感化院では、3 名の院長が各時代背景の下、強烈な個性を発揮して運営していたこと、神奈川の特徴は、感化院長人事の特異な推移であることなどが報告されました。

佐々木光郎氏



Ⅱ. 研究誌第 32 号を発行しました

「千葉県社会事業史研究」を継続・改題した「千葉・関東地域社会福祉史」第 32 号を発行いたしました。改題第 1 号となります。会員の皆様には送付させて頂きました。会員の方で万一お手元に届いていない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

Ⅲ. 研究誌第 33 号原稿募集

研究誌第 33 号へのご投稿をお待ちしております。会員ならどなたでもご投稿頂けます。11 月末日までに論題を事務局まで E-mail、FAX 等でお知らせください。原稿締め切りは 1 月末日です。

Ⅳ. その他

①都県別運営委員会報告

第 1 回都県別運営会議を 6 月 29 日（金）に開催しました。出席委員は、三好一成、宇佐美正利、小倉常明、藤森雄介、古宇田亮修、菅田理一の各氏で、7 月開催の研究総会準備を行いました。

第 2 回都県別運営会議を 10 月 5 日（金）、淑徳大学（池袋サテライト・キャンパス）にて開催しました。出席委員は、三好一成、宇佐美正利、梅原基雄、藤森雄介、庄司拓也、菅田理一の各氏で、夏季の会員による資料調査について報告が行われました。長谷川匡俊、三好一成、小倉常明、菅田理一の各氏による知的障害児施設筑峯学園（茨城県つくば市、大正 12 年創立）への訪問調査について等の報告がありました。

筑峯学園訪問



②11月17日（土）地域社会福祉史研究会連絡協議会研究交流会が開催されます。
日時：11月17日（土）10時から、淑徳大学（池袋サテライト・キャンパス）にて
地域社会福祉史研究会連絡協議会が開催されます。申し込みは同協議会へお願いします。
11月2日までです。

編集後記

会員の皆様からの話題、ご意見を載せていきたいと思います。事務局までメール等でお寄せ頂けましたら幸いです。(R. S)